



発行所
三池炭鉱労働組合
大牟田市不知火町2
電話 3033番
8100番
編集人 瀬田紀生
発行所

婦人の自由は
平和のいしずえ
山川 菊栄
(山川菊栄氏は社会主義協会創設
者・山川均氏夫人で、本所支部に
贈られた色紙のこぼれです)

社宅も道路もガタガタ

外灯もなく危険だ!!

福利要求を行動に移そう

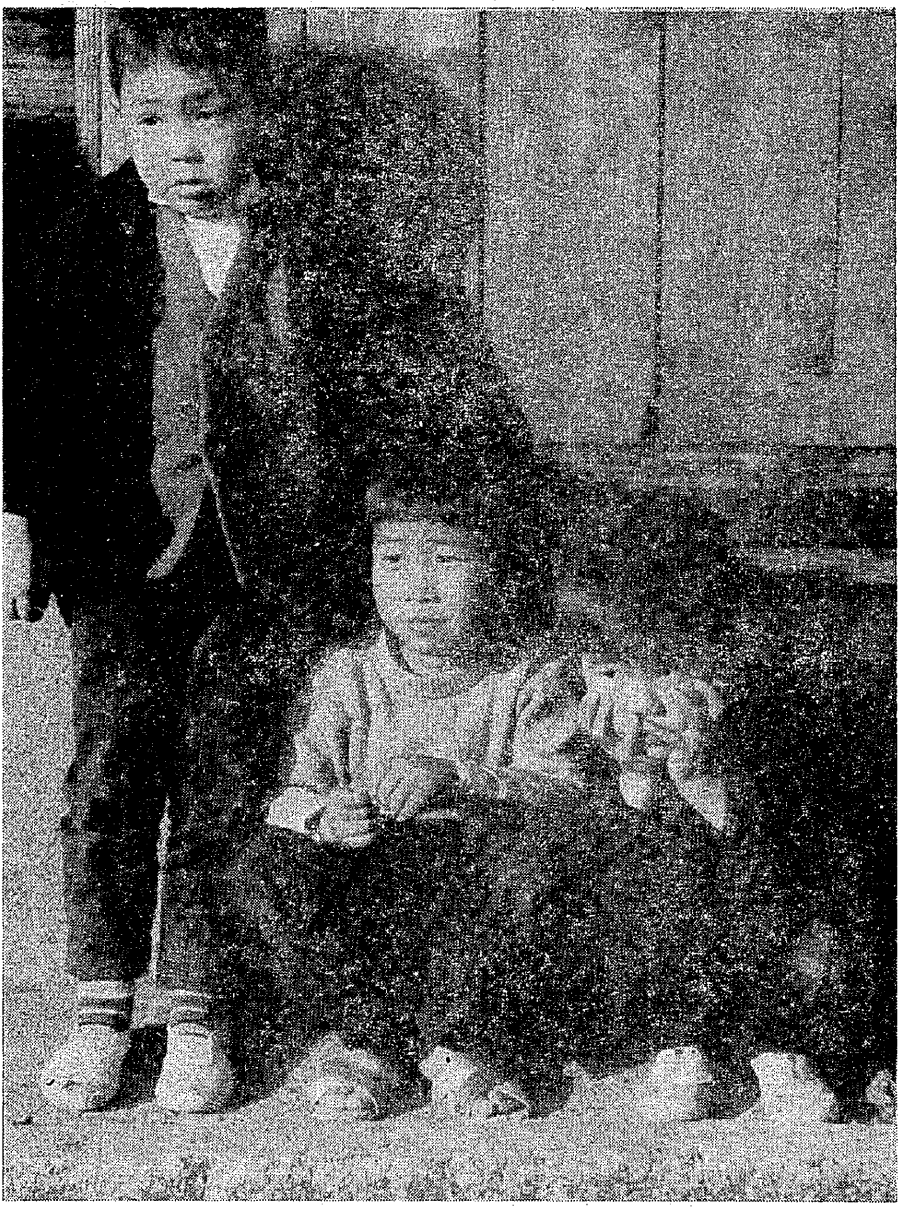
本紙前号で「春斗・職場諸要
求」として福利厚生関係の三池要
求のすべてを報告しました。

中央委員会での修正

第二「一方的に強行されている給
与の一回払いを一回払いに
戻せ、を追加する。
第一「結婚資金については現行一
二〇〇〇円(内二〇〇
〇円は支給)を五〇、〇〇
〇円(内一〇、〇〇〇円支
給)に改訂要求をしていた

が、支給を二〇、〇〇〇円
に修正する。
第三「その他は執行部一任。
身近かで正しい諸要求
資本の再建は昭和四二年度まで
に「全社黒字」ということです。
しかし、炭鉱労働者の生活実態
が、つづいて。

が、支給を二〇、〇〇〇円
に修正する。
第三「その他は執行部一任。
身近かで正しい諸要求
資本の再建は昭和四二年度まで
に「全社黒字」ということです。
しかし、炭鉱労働者の生活実態
が、つづいて。



三池労働者の福利厚生諸要求は
どれ一つとっても金身近くで
実現のこもったものばかりです。

斗いの重点はどこか

いへる身近かで正しい要求であ
っても、斗志と行動でハッスルし
ないかぎり「もの」になりません
、会社側は第二組合幹部の手前
「全面的拒否」に出ることも至
ります。

第一「われわれの要求を第二組合
員諸君に訴え、その共感を
かちとる。

第二「ねばりつよい斗争態勢を内
部で強化し、あくまで実態
上の要求であることを貫徹
する。

第三「くく地域分會・主婦會の
行動を積極化する。
たしかに地域では、いま積極的
な抵抗がくりひろげられていて
はいえぬ。しかし、会社側と第
二組合の矛盾は決して小さくな
いの、この実態要求に確信をも
ち行動につづる。

夕にすくし早し 刻。

この刻を、ひとりでたどると
突然、心の奥に「音」がある。
ひびいてくる「音」がある。
惨憺な記憶をよび「音」が
ある。

子供は、あわてて
ひとりだけの場から通れよ
うと、叫ぶ。

「××ちゃん、あはれ」
その子の父も被災者で
いまも病院に入っている。

心の奥にふれないように
ふたりは笑う、はしゃぐ。
母が製縫工場から帰るまで
高橋をよめた兄が
町工場から帰るまで。

社宅の板壁に
四月の陽が照っている夕。

張 上を向いて前進できるか

港務所分離と反合理化闘争

人をバカにした抱負

会社は宣伝機関「ハッスル」
や新聞の三月二九日号には石
炭ととも上を向いて前進」
という題で渡辺港務所長の抱負
なるものが、第一面トップに
いれられ、かかげられている。

内容は、四月一日より新会社
(三井鉱山の第二会社)として
発足するにあたり、(1)争議後の
正常な労働関係の確立によって
三池港の発展がよくなった。(2)
新産都市の海の拠点として、公
共性・企業性を調和させるため
に独立した。(3)安定した労働関

係で、石炭ととも上を向いて
前進しよう
——というのであり、何一つ具
体的なものは示されていない。

争議後の人命犠牲の生産第一
主義や、不当労働行為、あるいは
不法な賃下げ・労働強化を考
えても、三池の労働関係は正常
どころか「不正」そのものである
と、四月一日より新会社
(三井鉱山の第二会社)として
発足するにあたり、(1)争議後の
正常な労働関係の確立によって
三池港の発展がよくなった。(2)
新産都市の海の拠点として、公
共性・企業性を調和させるため
に独立した。(3)安定した労働関

係で、石炭ととも上を向いて
前進しよう
——というのであり、何一つ具
体的なものは示されていない。

争議後の人命犠牲の生産第一
主義や、不当労働行為、あるいは
不法な賃下げ・労働強化を考
えても、三池の労働関係は正常
どころか「不正」そのものである
と、四月一日より新会社
(三井鉱山の第二会社)として
発足するにあたり、(1)争議後の
正常な労働関係の確立によって
三池港の発展がよくなった。(2)
新産都市の海の拠点として、公
共性・企業性を調和させるため
に独立した。(3)安定した労働関

係で、石炭ととも上を向いて
前進しよう
——というのであり、何一つ具
体的なものは示されていない。

争議後の人命犠牲の生産第一
主義や、不当労働行為、あるいは
不法な賃下げ・労働強化を考
えても、三池の労働関係は正常
どころか「不正」そのものである
と、四月一日より新会社
(三井鉱山の第二会社)として
発足するにあたり、(1)争議後の
正常な労働関係の確立によって
三池港の発展がよくなった。(2)
新産都市の海の拠点として、公
共性・企業性を調和させるため
に独立した。(3)安定した労働関

前進する連帯スト

港務所分離反対の意義

会社側の考え方

四月一日、三井鉱山は多くの労
働者の強い反対をうけながら、一
方的に強行しました。この日港
ラプでは浜田新社長をむかえ、お
もてなされたい形ばかりの記念
式典を催しました。しかし当日は
「エプソール・プール」で、ま
だ資本の運命を象徴するかの如
き皮肉な目に当たったものだとい
わねばなりません。

さてこの分離をめぐる三池労働
者の態度は「団交ビラ・情書・機
紙等」により報告されています。
その総括もいふべき「反対の意
義」とこれから本格化する合理化
または今後の闘いの方向などを要
約解説したいと思います。

いままでの「地方鉄道化や分離
強行」は、今後の合理化の準備の
ためであり、その意図は改めてい
うまでもなく、三井鉱山が分離に
当り「七〇億圓」の借金を新会

社に押しつけたこと、港の公共
管理すなわち港公開は、儲かるな
い金ばかり食う港を手放すとい
うことも明らかです。

したがって地方鉄道化も分離強
行も今後の合理化の準備作業と
いつていいです。

これから本番の合理化
先考えられる第一の合理化は
分離直前に進んだ二回の団交の
中で問題となった労働諸条件は「
当分現行通り」が「差し当り現行
通り」に変わったことです。

その意味は、当分の間は短かく
て半年、長くても二年以内です
が、差し当り一月でも三月でも
ぐに労働諸条件を引き下げるこ
う出来ることだといつて重大
な意味をもっています。

第二には、港の公開です。いま
り他港の例から見ると、「公開」
されれば社員は四、五人ぐらいで
他の労働者は第二会社「倉庫業・

荷役会社」等多くの小さな下請会
社に分離されるといふ合理化の
ありさま。

第三には、公益事業だからとい
う美名の下に、組合活動を抑圧し
会社の思う通り使える労働者につ
くり替へようとする合理化です。
すでに第二組合に対しては「今年
の六月に期限切れになる平和協定
の再延長協定」を押しつけて、
団交席上でも明らかにしています。
いふまでもなくこれは目的があ
り、それは組合の弱体化により賃
金切り下げ・労働強化・労働時間
の延長等の合理化がねらわれます。
必ず労働者は団結しつう
現在会社は「合理化」などとい
言ひますが、むしろバラ色ムード
の新産都市の宣伝や、分離祝儀金
五、〇〇〇〇〇円の支給などを以て
こきざししています。

しかし三井資本の悪業のかずか
ずの歴史は、そんなに甘いもので
ない。

われわれは五人組を強化して
職場と地域で断固たたかうこと
も、この点を確認し、確信を
もって前進しよう。

上を向いて
前進するために
三作は「バラ色ムード」で五
年前に分離・独立したが、昨年

三池労働者は、企業分離・第二
会社化を過去の業績と会社側の
合理化はさらに全体に

三池労働者は、企業分離・第二
会社化を過去の業績と会社側の
合理化はさらに全体に

三池労働者は、企業分離・第二
会社化を過去の業績と会社側の
合理化はさらに全体に

三池労働者は、企業分離・第二
会社化を過去の業績と会社側の
合理化はさらに全体に

三池労働者は、企業分離・第二
会社化を過去の業績と会社側の
合理化はさらに全体に

三池労働者は、企業分離・第二
会社化を過去の業績と会社側の
合理化はさらに全体に

三池労働者は、企業分離・第二
会社化を過去の業績と会社側の
合理化はさらに全体に

三池労働者は、企業分離・第二
会社化を過去の業績と会社側の
合理化はさらに全体に

三池労働者は、企業分離・第二
会社化を過去の業績と会社側の
合理化はさらに全体に

三池労働者は、企業分離・第二
会社化を過去の業績と会社側の
合理化はさらに全体に

三池労働者は、企業分離・第二
会社化を過去の業績と会社側の
合理化はさらに全体に

三池労働者は、企業分離・第二
会社化を過去の業績と会社側の
合理化はさらに全体に

三池労働者は、企業分離・第二
会社化を過去の業績と会社側の
合理化はさらに全体に

三池労働者は、企業分離・第二
会社化を過去の業績と会社側の
合理化はさらに全体に

三池労働者は、企業分離・第二
会社化を過去の業績と会社側の
合理化はさらに全体に

三池労働者は、企業分離・第二
会社化を過去の業績と会社側の
合理化はさらに全体に

三池労働者は、企業分離・第二
会社化を過去の業績と会社側の
合理化はさらに全体に

三池労働者は、企業分離・第二
会社化を過去の業績と会社側の
合理化はさらに全体に

三池労働者は、企業分離・第二
会社化を過去の業績と会社側の
合理化はさらに全体に

三池労働者は、企業分離・第二
会社化を過去の業績と会社側の
合理化はさらに全体に

三池労働者は、企業分離・第二
会社化を過去の業績と会社側の
合理化はさらに全体に